

「エデンの東」

小谷 徳爾

映画、ジェームス・ディーンのデビュー作。オーケストラの美しい音色の演奏を、耳になさることがあります。

御新任の「小林神父様の歓迎ティーパーティー」。シンセサイザーの伴奏、要理の可愛いお子達のコーラス、心が癒されました。アンコール!! アンコール!! アンコール!!

...ヨゼフ会員... 替わって!!

「西」... 静岡から神奈川... 「東」... 新しい中和田教会御赴任の御心の神父様に感謝。

「エデンの東」、「旧約聖書第4章、カインとアベルを素材に、ジョン・スタインベック小説」、この「映画と音楽」... 永遠の名作」愛器リードハーモニカ、「D調とB調、2本」で演奏させていただきました。

オケの曲をハーモニカで、聴いてくださった皆様、ありがとうございました。

2007. 4. 15



各グループ連絡・報告事項
委員会だより
連絡事項・行事計画
聖週間準備について
改修工事
審議事項
堅信式準備
各供達の春休み中の集中研修は日程的に不可能。成人の準備は小林神父様と相談の上決定。分かち合いは復活祭並みとし、準備は別途具体化。
月定献金の現状データ報告。今後考え方を深めていくが、中々難しことを担当準備決定(済み)

(1) 営繕G... 聖堂内装整備工事
3月12日(月)~22日(木) 聖堂内工事完了
3月23日(金) クリーニング完了
(2) 典礼G...
(3) 財務G...

各グループ連絡・報告事項
委員会だより
連絡事項・行事計画
聖週間準備について
改修工事
審議事項
堅信式準備
各供達の春休み中の集中研修は日程的に不可能。成人の準備は小林神父様と相談の上決定。分かち合いは復活祭並みとし、準備は別途具体化。
月定献金の現状データ報告。今後考え方を深めていくが、中々難しことを担当準備決定(済み)

次回 5月6日

次回委員会で大枠を決め、5月に立ち上げる。メンバーは委員長、財務委員、行事委員2名、事務G、ヨゼフ会を想定し、5月より4回活動現状全体を纏めてみる。

● 聖堂を中心とした教会の改修工事が、信徒の皆様のご協力により悉く完了しました。皆様の尊い献金とご理解のもとに新装なつたご聖堂でミサに与る喜びを分ち合いました。有難うございました。

07年3月 委員会後記 小野委員長

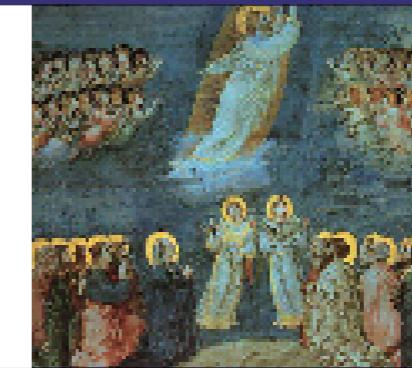


広報 なかわだ

第334号

5月の予定

委員会 5月 6日
ヨゼフ会例会 5月 20日
聖霊降臨の主日 5月 27日



ジオット作「主の昇天」

2007年 5月号

中和田カトリック教会

広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成19年5月6日

中和田教会の皆様へ

主任司祭 小林 陽一



この度、人事異動により浜松教会から中和田教会に転勤いたしました。4月8日の復活祭の後、1日おいて4月10日に引っ越ししました。浜松教会所属の岡村勝氏の運転するキャリアカーに私の普通自動車を乗せてもらい、私もその車に乗せてもらって、昼の12時頃教会に到着しました。

中和田教会の大勢の皆様が出迎えてくださいました。心のこもったお迎えに言葉もございません。

小生、昭和14年(1939年)生まれ、工業高校を卒業後約8年間会社生活をし、この間に洗礼のお恵みをいただきました。司祭叙階は1976年11月、現在の富士カトリック教会で叙階していただきました。山手教会、静岡県三島教会、その後焼津教会、島田教会、静岡吉田教会、藤枝教会、浜松教会に勤務、奉仕させていただきました。

中和田教会で生活し始めてから、教会の皆さんがあつた手製の取り付け具に気付くようになりました。門や生け垣や花壇に手作り品がいっぱいありました。聖堂に入る坂道のそばに立つマリア様の御像は、神秘的で美しいと思いました。心に残ります。教会の人達が育てたお花が主日ミサの祭壇に飾られていました。教会のあちこちで中和田教会の信者さん達の心の温もりを感じます。歴史のある良いあたたかい教会です。

まだ、横浜市内の道路の諸事情がわからないので、買い物も車でなく徒歩で出かけます。道がわかるようになつたら車の運転をするつもりです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

主任司祭 小林 陽一 神父様 プロフィール

1939年1月生れ 富士カトリック教会(前吉原教会)出身
1976年 5月 山手教会勤務
1976年 11月 司祭叙階
1979年 4月 浜松教会勤務
1982年 8月 東アジア司牧研修所(マニラ)
1983年 4月 三島教会勤務
1987年 5月 焼津・島田・吉田教会勤務
1992年 4月 藤枝教会・藤枝聖母幼稚園勤務
2000年 4月 浜松教会勤務
2000年 11月 司祭叙階銀祝(25周年)



中和田教会に赴任されて、現在特に関心をお持ちの事項。

- ① 司祭を志望する小学生・中学生との関わりを育てたい
- ② 司祭召命の道を歩みたい青年、成年信徒、教会学校リーダーとの交わり
- ③ 中和田教会の組織、信者、グループと共に歩みたい
- ④ 共同宣教司牧、在日外国籍信徒との交流を通しての分ち合いを育てたい
- ⑤ 信者と共に英語のミサを学びたい



春先に思う事

あの日一九四四年四月初め、伯母と桜木町に降り立ったのは十一時すぎ、吉田橋の近くであつて想う。階段を上がり、薄暗い部屋。急いで、ミシンを分解。恒は頭を持ち、伯母は足部分を背負い紐で背負いその家を後にした。外はまだ潮風が冷たく、桜の花が散り始め、足元に舞つていた。伯母はソバを食べようともみじ坂あたりでラーメンを食べたのを覚えていた。

道具はミシンだけ残つた。伯父はその年一月に死に、伯母はお骨に向かい、めでたしを祈り泣いていた。恒の父武は何時も家を留守にし、伯母をたのむよと言った。空襲の中会社の疎開機械の換えつけに福島や大谷に張し、夜空襲にな



と従妹をだき、防空壕に三人で逃げ込む。そんな毎日が繰り返された。恒は学徒動員に行くのが、日課であった。恒飛行機工場に幾度となく止まる電車で学徒動員に行くのが、日課であった。恒吉祥寺教会の前身アルベルトホームは多くの外国の神父様がいらしたが、三月のドイツの降伏と同時にフラッテン神父やライツ神父も何時しかいなくなったり、ミサがある日は張り紙がしてあり、この次は何時と書いてありました。八月十五日何時もの様に会社に行く。空襲がない、米軍の飛行機が低空で飛ぶ。十二時天皇陛下の声を聞く、よく聞き取る事が出来ない。何時しか嗚咽に変わり戦争に負けたことを知った。職場に戻ると、動員令できた人たち、学生、女学生徒、沖縄から来た職工。仲間が集まり、各々が鉢巻に名前を書き記し、また会おうと抱き合い、飛行機の部品をはずし、記念にかばんに入れる者も居た。

八月十六日、恒は残つた食券を現物に交換してくれると言う。食券二十枚と交換、大豆七キロ、米三キロ、南京袋に入れ、食堂に行く。明日から閉鎖という。好きなだけ食べる様に、力一杯食べる。あれから腹一杯食べるのは十年もあとの事で、いつもお腹をすかせていた。次の十七日、善福寺池に、泳ぎに行く。途中畑に真っ赤なトマトが放置され、枯れた枝から落ちたのを入れる。池に着くと、何人かの子供た

始めた。スイレンの花が咲き、水は冷たく、足に硬いものが手に触れる。仲間を呼び出しだ、近くに住む人が、騒ぎ噴出しだ、近くに住む人が、騒ぎを押さえつけ友人が抜く、初めて血が噴出した。その時左足に激痛が走つた、膝のところに手をやると、黄色い粉をふりかけ止めだと。リヤカーに乗せられ、家まで、送つて貰う。伯母は非常に驚きそのまま外科病院に行く。老いた先生が傷口に綿棒を突っ込みごしごし洗う猛烈な痛み、伯母には足を押さえ恒お祈りをとせかす。天にまします、痛いとの繰り返し、麻酔もかけなかつた。終戦の十五日兵隊さんが来て、池に捨てたと言う。大豆と米が一つになつた南京袋から紙の上に広げ、伯母はえり分ける。上手くいかない。恒が厚紙でとよを作り、傾斜して上から少しづつ転がす豆は元気にしておかゆを作つて、従妹に食べさせた。その頃泣いてばかりいた従妹は、三河島カトリック教会で役員をしている。もう六年も前の教会の婦人部はなしではない。

平和である事を神に感謝



春先に思う事

鶴田恒之

中和田の復活祭、そして神父様歓送会...

4月8日に復活の主日ミサが鈴木神父様の司式で捧げられました。引き続いて、この2年間、中和田教会がたいへんお世話になった主任司祭 鈴木勤介神父様、渡邊裕成神父様、高野哲夫神父様の歓送会を兼ねた復活祝賀会が開催されました。中和田信徒一同、多大なご指導を頂いた神父様方に心より感謝しております。いつまでも、お元気でご活躍されますように。



主任司祭 小林陽一神父様 初ミサ&歓迎会

中和田教会に着任された小林陽一神父様の、最初の主日ミサが4月15日に捧げられ、また終了後には歓迎会が開催されました。集会室に入りきれないほど多数の信徒が参加して、神父様との懇談、子どもたちの聖歌斎唱、小谷さんのハーモニカ演奏などで楽しいひと時を過ごしました。参加された皆様、有難うございました。

